



アジア学術会議 (SCA) 共同声明 (日本語訳) 「グリーンエコノミー達成のため科学者の英知を活用しよう」

私たち、第12回アジア学術会議理事会及び総会に出席した加盟国代表者、また第12回アジア学術会議国際シンポジウムの参加者は、我々の世界を守るため科学者が力をあわせるべきであるとの結論に至り、その決意をここに声明文としてとりまとめた。

私たちは、地球サミット「リオ+20」の主要テーマである「持続可能な開発と貧困撲滅におけるグリーンエコノミー」について、科学者として寄与すべきである事を確認した。

一方私たちは科学者として、グリーンエコノミーへの対応についてより現実的にその内容を捉え、具体的な対応に発展させるべきであると考え。アジア地域においては、個々の国の声を統合しプラットフォームとして有効に機能する体制を整えるべきであり、その為にはアジア地域全体の連携が重要である。

私たちには持続可能な開発を効率的に達成するために、具体的な対応が求められている。私たちは、国際社会の方向性を、「経済成長のみを追求した経済開発」から、経済成長と環境を両立させた経済活動である「グリーンエコノミー」へ変えていかなければならないことを確認した。

そこで、科学の重要性を再認識し、グリーンエコノミーを実現するために科学者が何をすべきかを明らかにする必要があると考え、本会議の参加者は次の声明文を公表する：

1. 持続可能な開発を目指して SCA イニシアティブを相互に促進・支援していくべきである。
2. 私たちは、天然資源の大切さを認識し、世界で、またアジア地域で、さらには国単位で持続可能な開発の理念と政策を設定すべきである。
3. グリーンエコノミーの促進と実施のためには、資源、財産権への公平なアクセスを可能とし、そこからもたらされる恩恵がより広く平等に社会全体の人々に行き渡ることが可能となる事を基本とする必要がある。
4. 科学者は、科学が人々の生活、および人々の幸福のために何を実現できるかを常に念頭において行動すべきであり、よって持続可能な開発を促進し、そのために活動することは科学者としての務めである。
5. この目的を確かなものとする為、私たちは、政府、実業界、および社会一般といったステイクホルダーと協働することの重要性を十分に認識する。
6. 私たちは「グリーンエコノミー」達成のため、科学者としての知見を政策決定者に積極的に提供する。

以上
ボゴールにて2012年7月12日